

令和元年5月29日

令和元年度定時総会 会長挨拶

令和元年度の定時総会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より全建の事業活動に深いご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。また、本日は、何かとお忙しいところを定時総会にご出席をいただきまして、重ねて御礼申し上げます。

さて、私ども建設業界を取り巻く状況は、平成31年度当初予算で、公共事業関係費に「防災・減災、国土強靱化3か年緊急対策」の関連事業費が盛り込まれ、前年度を大幅に上回る予算が確保される形となりました。また、設計労務単価が7年連続で上げられることとなったほか、低入札価格調査基準が10分の9.2に上げられるなど、これまでの我々の活動が具体的に実を結ぶ結果となりました。しかし、一方では工事量の偏りからくる地域間格差や企業間格差が依然として改善されず、地域建設企業の多くは引き続き厳しい経営環境にあり、課題も多く残されております。

このような中、4月から働き方改革関連法が施行され、さらに建設キャリアアップシステムの本格運用、改正入管法の施行による新たな外国人受入れなど、地域建設業界にとっても、大きな時代の節目となる施策や制度が動き出しているところです。

全建としましては、既に「働き方改革」という喫緊の課題に対応するため、「休日 月1+（ツキイチプラス）」運動や「単価引上げ分アップ宣言」等の取組を継続することとし、各都道府県建設業協会に発信し、令和元年度も積極的に運動を進めることとしたところでございます。

「令和」という新しい時代が幕を開け、時代の大きな節目の年に当たり、私ども全建は、その使命を再確認しつつ、地域を支える地域建設業が着実に発展し、将来に亘ってその社会的役割を果たしていくため、都道府県建設業協会の皆様方と一丸となり、また建設関係諸団体の皆様と

も力を合わせ、積極的に取組を展開して参る所存でございます。

本日お集まりの皆様方におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願いするところでございます。

結びに当たり、各都道府県建設業協会並びに会員企業の皆様の今後益々のご発展と、ご臨席の皆様方のご健勝を心から祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

以 上